

平成30年度 学校経営方針

太田市立太田東小学校

1 学校教育目標

「よりよく生き輝く子」の育成
強く 正しく 美しく

2 目指す学校像

—笑顔あふれる 元気で明るく楽しい学校—

- 確かな学力が身に付く学校
- 豊かな人間性が育まれる学校
- 健やかな心と体が育まれる学校
- 生き抜く力を培える学校

3 目指す児童像と教師像

めざす児童像	めざす教職員像
<p>進んで学び、やりぬく子 (知) —正しく— ○話をしっかりと聞き、真剣に学ぶ児童 ○お互いに学び合い、高め合うことができる児童 ○目標に向かってやり通すことができる児童</p> <p>考えて行動し、やさしい心をもった子 (徳) —美しく— ○人のために進んでよいことができる児童 ○仲良く助け合うことができる児童</p> <p>たくましく、明るく元気な子 (体) —強く— ○健康や安全に気を付けて生活できる児童 ○元気な挨拶、返事ができる児童</p>	<ul style="list-style-type: none">○児童の目線で考えられる教師○創意と情熱をもてる教師○優れた専門性をもち、家庭・地域に信頼される力量、指導力のある教師○和と協働精神をもち、切磋琢磨できる教師○率先垂範を心がけ、努力と使命感をもった教師○服務に厳正な教師

4 学校経営方針

全職員の特性と協働精神を生かして、日々の教育活動を充実させ、児童一人一人のよさが輝き、笑顔にあふれた活力ある学校づくりに努める。

- (1) 児童相互、教師と児童との心の絆づくりと温かい人間関係づくりに努め、居心地のよい学校・学級づくりに取り組む。
- (2) 地域のよさや特性を踏まえ、特色ある教育課程の編成・実施・評価に努め、楽しくわかる授業で、確かな学力の育成に努める。
- (3) 美しいものやよさに感動できるような情操を高め、豊かな心・思いやりのある心を育てる教育活動を推進する。
- (4) 児童の安心・安全の確保を最優先し、体力・健康づくりと命の大切さを育む学校の実現に努める。
- (5) 児童一人一人の夢や目標の自己実現を図れるよう、伸び伸びと学習でき、学びを深められる教育環境づくりとキャリア教育の実践に努める。
- (6) 太田東小学校が組織としてうまく機能していくように、教職員一人ひとりが自分の職責を果たすとともに、お互いに思いやりの心と信頼の心を持ち、情報を共有して、協働体制を築く。
- (7) 家庭・地域との連携を大切に、信頼される学校の実現に努める。

5 具体的な方針及び努力点

(1) 学級経営の充実

- ①友達を思いやる温かい人間関係を築き、よさや可能性を認め伸ばす学級経営の充実を図る。
 - ・児童のコミュニケーション能力を高めるとともに、日常的なふれあいを大切にしながら教職員と児童、児童同士の心の絆づくりを深める
 - ・構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング等の実践
- ②自己有用感を育めるよう、活躍できる場を保証し、学校・学級集団の一員であることの意識を向上させる。
 - ・係活動、当番活動、委員会、児童会活動の充実
 - ・C & Sの結果を学級経営に生かす

(2) 確かな学力の向上

- ①指導のねらいを明確に提示し、振り返りを行うことで学びの質の高め、分かる授業の改善・充実を図る。
 - ・学力向上委員会を中心にした組織的・継続的な取組
 - ・週案簿の活用により、先を見通した授業計画作りを行う
- ②授業形態や授業展開を工夫し、学ぶ意欲を高める指導の充実を図る。
 - ・児童の実態を踏まえた、習熟度別指導、TT、個別指導等のきめ細かな指導
 - ・ペア、グループ学習などの学び合える授業形態を通して、言語活動の充実と練り上げる授業展開の工夫や揺さぶりをかける発問の工夫を通して、論理的な思考を促す指導（主体的・対話的・深い学びのある学習過程）
 - ・学習ルールやノート指導の徹底
- ③朝学習や放課後学習教室、漢字計算コンテスト等を通して基礎学力の定着を図る。
- ④宿題の内容や自主学習、家庭学習の課し方を工夫し、家庭と連携し家庭学習の習慣化、読書習慣を身に付けさせる。
 - ・学力向上委員会を中心にした組織的・継続的な取組
- ⑤全国学力・学習状況調査や標準学力検査の結果分析から、知識・技能の確実な習得や、思考力判断力・表現力や課題解決能力を高める指導の工夫を組織的、計画的にすすめる。

(3) 心の教育の充実

- ①道徳科の指導の充実を図る。
 - ・校内研修テーマに沿った、授業改善・工夫
 - ・全体計画・年間指導計画を基に各教科との関連
- ②全教育活動を通して、自主的・自律的に様々な活動に取り組むと共に、互いを認め合い、支え合えるような思いやりの心の育成に努める。
- ③本に親しむ機会を多く設けて読書の楽しさを感じさせ、読書する習慣づくりに努める。
 - ・朝読書の時間の確保、読書週間等の読書活動の推進
 - ・図書室の環境整備、全職員による積極的な読書啓発
- ④クラブ活動・委員会活動など、異学年集団による活動を通して、児童相互の人間関係を深め、自己有用感や充実感の育成に努める。
- ⑤全校をあげて「元気な挨拶・返事」に取り組み、温かい人間関係づくりに努める。
- ⑥人権教育、福祉教育、情報モラル教育を充実させ、思いやりの心を育てる。
 - ・人権集中学習の取り組みの充実

(4) 健康・安全の教育の推進

- ①児童の自発的・自主的な運動が持続できる環境を整え、体力の向上に努める。
 - ・体力向上プランを活用した組織的な取組の充実
 - ・体育の授業や行事、朝運動や休み時間を通じた体力づくり
 - ・ねらいをもった体育的行事への参加と振り返り
 - ・外遊びの奨励

- ②食育の推進を図る。
 - ・給食や教科指導の時間を通して、食事への興味関心の喚起やマナー等の指導
 - ・アレルギー児童の把握と食物アレルギーへのきめ細かな対応
- ③健康に対する正しい知識や生活習慣を身に付けさせるとともに、家庭への啓発と連携を深め健康教育の推進を図る。
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯・歯磨き」等、よりよい生活習慣の確立
(学校、学年、学級通信、保健便りなどによる保護者への啓蒙強化)
 - ・健康教育の充実
- ④校内安全、交通安全、防災・防犯などの安全教育を家庭、地域、関係機関と連携しながら推進を図る。
 - ・登下校時の危機管理や安全指導、安全管理体制の充実に努め、子どもの命と安全を守る
 - ・緊急時避難訓練や引き渡し訓練の充実
 - ・学校事故防止のための教室廊下、遊具等の施設・設備の安全点検の励行と危険箇所の早期発見と改善

(5)生徒指導の充実

- ①児童の不応の早期発見に努めるとともに、他の教職員や家庭と早めの連絡報告をし、早期対応を心がける。
 - ・スクールカウンセラーや相談員による児童、保護者との教育相談の充実
 - ・児童相談所や子ども課などの関係機関との連携
- ②児童の人格を尊重し、児童の努力、工夫、良さ、可能性を認めて賞賛したり励ましたりするなど、児童の心に寄り添った生徒指導に努める。
- ③集団としてのルールの徹底や、基本的な生活習慣を身に付けさせるための生徒指導の取り組みを全教育活動で、全教職員の共通理解のもと、同一歩調で指導する。
 - ・当たり前のことが当たり前できるようにする
 - ・「太田東小学校のきまり」の徹底
- ④いじめ・不登校などの未然防止に努める。
 - ・日常の観察により、サインを見逃さない(学校生活アンケートの活用)
 - ・児童会主体のいじめ防止活動の実施

(6)キャリア教育の充実

- ①自分らしい、よりよい生き方を目指し、発達段階に応じたキャリア発達を全体計画、年間計画に基づき実践する。
- ②各教科等における社会や生活とのつながりを意識させ、学ぶ意欲を高められるような指導の工夫をする。

(7)教育環境づくり

- ①教育活動を適切に実施するために、校舎内外と教室に対する整備や整理・整頓及び清掃・清潔に心がける。
- ②教材・教具の整備や掲示物等、意欲を喚起する学習環境作りを計画的に行う。
- ③環境の保全に配慮した、望ましい行動がとれる児童を育てる。
 - ・電気、水の節約、ゴミの減量化(分別)など、身近な取組の日常化

(8)家庭・地域との連携強化と信頼される学校の実現

- ①地域の教育力や地域素材などを活用した指導を積極的に取り入れる。
- ②学校通信、学年通信、学級通信等、及びWebページを利用して、きめ細かに情報発信する。
- ③学校評価の実施を通し、学校改善に生かす。
- ④服務規律の遵守の徹底、接遇の在り方を意識し実践をする。
- ⑤自己の職能成長や能力開発、意欲や使命感の高揚などを図るための人事評価制度を推進する。
 - ・学校課題や自己課題から明確な目標を設定し、実践につなげる